

熊本市公民連携プラットフォームの取組

熊本市 財政局 財務部 資産マネジメント課

新しく生きよう。

NEO ONE
KUMAMOTO

1. 熊本市の公民連携の取組

- ◆ H15年度 「熊本市PFI指針」策定
- ◆ H17年度 PFI第1号案件「熊本市総合保健福祉センター」整備着手（H20.4月供用開始）
- ◆ H21年度 PFI第2号案件「熊本城桜の馬場観光交流施設」整備着手（H23.3月供用開始）
- ◆ H22年度 DBO方式「下水汚泥固形燃料化施設」整備着手（H25.4月供用開始）
- ◆ H23年度 DBO方式「新西部環境工場」整備着手（H28.3月供用開始）
- ◆ H28年度 **熊本地域PF（国土交通省事業）の設置** ケーススタディ「熊本市東部公民館」
「熊本市公民連携活用指針」（従前のPFI指針を改定）策定 ※優先的検討規定
DB方式「新熊本市民病院」整備着手
「熊本市公共施設等総合管理計画」策定
- ◆ H29年度 マーケットサウンディング「熊本市動植物園」
- ◆ H30年度 マーケットサウンディング「水前寺江津湖公園」（WS形式）
※H29-30年度に「九州FG PPP/PFIプラットフォーム」にて閉校利活用や
公有財産有効活用のテーマでマーケットサウンディングを別途実施
- ◆ R元年度 内閣府・国土交通省とPPP/PFI地域プラットフォーム協定を締結
「熊本市公民連携プラットフォーム」を設置

2. 熊本市のPPP/PFI事業（その1）

熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルクまもと）

市民への保健福祉サービスの充実を図るため、保健所等の機能を備えた複合施設を整備。

【事業方式】 PFI（BTO）

【事業期間】

設計・建設：2年
（H18.3～H20.3）

維持管理：20年
（H20.4～R10.3）

【施設概要】

延床面積：7,799.72㎡

構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造 5階建て

主な機能：保健所、市民活動支援センター、
子ども・若者総合相談センター

VFM：37.5%



熊本城桜の馬場観光交流施設

熊本城が立地する都市公園内に、地域の食文化や歴史、伝統を発信する観光施設を整備。

【事業方式】

PFI（BTO）：歴史文化体験施設
多目的交流施設

PRE（公園施設設置許可）
：桜の小路（飲食物販施設）

【事業期間（PFIのみ）】

設計・建設：1年8カ月
（H21.6～H23.2）

維持管理：20年
（H23.3～R13.3）

【施設概要】

（PFI）総延床面積：3,301.36㎡

構造：鉄骨造 2階建て

VFM：11.1%

（PRE）総延床面積：2,335㎡



2. 熊本市のPPP/PFI事業（その2）

下水汚泥固形燃料化施設

下水汚泥の資源化の促進、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止に向けて、下水汚泥から燃料化物（炭化固形物）の製造・販売を行う（リサイクル率100%を達成）。

【事業方式】 DBO

【事業期間】

設計・建設：2年
（H23.3～H25.3）

維持管理：20年
（H25.4～R15.3）

【施設概要】

公証処理能力 50+ /日

VFM：27.0%

- 製造した燃料化物は、長崎県の松浦火力発電所（電源開発株）と松浦発電所（九州電力株）において石炭の代替燃料として有効利用している。



新西部環境工場

ごみの焼却を行うとともに、発生する熱エネルギーを利用して発電した電気を外部へ送り、売却する。また、近隣公共施設（※）へ電気や温水の供給を行う。

【事業方式】 DBO

【事業期間】

設計・建設：3年11カ月
（H24.4.～H28.2）

維持管理：20年
（H28.3～R18.3）

【施設概要】

延床面積：12,723.52㎡

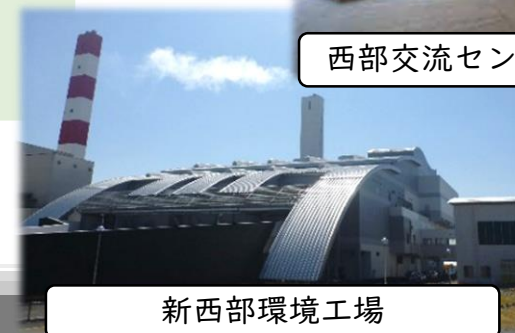
処理能力：280+ /日（140+ /日×2炉）

VFM：28.3%

※西部交流センター
（浴場、足湯、多目的室、売店など）



西部交流センター(浴場)



新西部環境工場

3. 熊本市公民連携プラットフォーム（その1）

公共施設マネジメントの取組の更なる推進に向けて

「熊本市公民連携プラットフォーム」を設置

実施体制

- 事務局：熊本市
（資産マネジメント課）
- 受託事業者（運営等支援業務）
 - ・株式会社 産学連携機構九州九州PPPセンター
- 参加団体（オブザーバー含む）
 - ・熊本県
 - ・連携中枢都市圏構成自治体
 - ・その他県内市町村
 - ・九州財務局
- 内閣府及び国土交通省による支援事業である「PPP/PFI地域プラットフォーム制度」における「協定プラットフォーム」の一つ

ノウハウの向上

公民連携に関する制度や、他都市の先進事例等について、専門家や他都市実務担当者の方を招聘して、講演会を開催し、ノウハウの向上を図る。

マーケットサウンディングの実施

熊本市及び参加団体で公民連携を検討している事業について、民間事業者との対話（マーケットサウンディング）の実施を通じて、事業内容への意見や新たな提案などの把握や、当該事業への民間事業者の参入意欲の向上を図る。

県内地方公共団体での課題等の共有

熊本県内地方公共団体が抱える課題や、各団体の取組などに関して意見交換を実施。

3. 熊本市公民連携プラットフォーム（その2）

第1回 令和元年（2019年）8月27日

【参加者】113人 民間事業者：52人（36団体）
県内地方公共団体職員等：

【マーケットサウンディング案件】

- ・旧植木温泉福祉交流館の利活用について
- ・旧松尾北小学校の利活用事業
- ・森都心プラザのビジネス支援機能強化について

第2回 令和元年（2019年）11月20日

【参加者】91人 民間事業者：43人（25団体）
県内地方公共団体職員等：

【マーケットサウンディング案件案件】

- ・水前寺競技場整備事業
- ・熊本市公共施設包括管理委託事業
- ・熊本藩川尻米蔵跡利活用事業
- ・長洲町地域福祉センター利活用事業（長洲町）

第3回 令和元年（2020年）1月29日

熊本城ホール・大会議室にて開催



3. 熊本市公民連携プラットフォーム（その3）

マーケットサウンディングの流れ

1

マーケットサウンディング

- 熊本市公民連携プラットフォームにおいて、検討案件の事業概要を説明
- 第2・3回では、同日にオープン方式での意見交換会を実施

2

現地説明会・個別相談会

- 現地にて、施設の現状等を説明
- クローズ方式での個別対話を実施

3

結果の公表・事業化の検討

- マーケットサウンディング結果を市HPに掲載（企業秘密（アイデアやノウハウ）に関わる事項は非公表）
- いただいた提案、意見等を踏まえて事業化の方針などを検討し、条件が整った場合は、公募により事業者の選定を実施



第2回熊本市公民連携プラットフォーム



意見交換会（オープン方式）